

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗2088	1,792	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	→ 33	33	ヘルパンギーナ	↘ 1	2
咽頭結膜熱	↗ 45	33	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↗ 15	9
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	↘ 70	100	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 826	716	流行性角結膜炎 (はやり目)	↗ 12	10
水痘	↗ 99	87	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 57	45	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑 (りんご病)	↗ 3	0	マイコプラズマ肺炎	↘ 0	1
突発性発しん	↗ 48	40	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い感染症

- インフルエンザ
- 感染性胃腸炎
- 水痘

- インフルエンザは、報告数 2,088件(前週報告数 1,792件)と増加。地区別では、天草、宇城、山鹿に多く報告がみられます。年齢別では、10～14歳の320件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 感染性胃腸炎は、報告数 826件(前週報告数 716件)と増加。地区別では、山鹿、菊池、有明に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の124件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 水痘は、報告数 99件(前週報告数 87件)と増加。地区別では、八代、宇城、菊池に多く報告がみられます。年齢別では1歳の26件を最多に15～19歳以下からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	568	6	11	23	197	19	3	1	15				4	11				
山鹿保健所	113				94	2	1		2					*	*			
菊池保健所	269	11	26	22	139	12	1		15						1			
阿蘇保健所	42			2	23									*	*			
御船保健所	45				15									*	*			
八代保健所	183	3		12	40	24	15		2		1	1						
水俣保健所	54	3	1		4	2			2			1	*	*				
人吉保健所	88	2			69	4		1	1				*	*				
有明保健所	207	4	4		126	11	27		4			1						
宇城保健所	236	2	3	9	60	16	5	1	4			2	*	*				
天草保健所	283	2		2	59	9	5		3			6						
計	2088	33	45	70	826	99	57	3	48	0	1	15	0	12	0	0	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5 ヵ月	6～11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳 以上
インフルエンザ	2088	12	28	114	123	130	127	112	110	79	74	57	320	139	103	167	138	96	68	50	41
小児科定点年齢	合計	0～5 ヵ月	6～11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上						
RSウイルス感染症	33	8	7	10	5	2		1													
咽頭結膜熱	45		3	21	10	1	1	3	3	1				2							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	70			2	5	4	4	19	13	8	3	3		6						3	
感染性胃腸炎	826	9	42	124	77	74	67	43	44	38	36	34	111	24	103						
水痘	99		10	26	24	15	10	8	1			1	3	1							
手足口病	57	3	6	26	9	7	4		1					1							
伝染性紅斑	3			1				1						1							
突発性発しん	48	2	25	19	2																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	1								1												
流行性耳下腺炎	15					1	2	3	2	1		2	4								
眼科定点年齢区分	合計	0～5 ヵ月	6～11 ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	12					1				1				1		4	1	2			1
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	0																				
クラミジア肺炎	0																				

**大きな流行が発生
又は継続しつつある地域**

- インフルエンザ: 山鹿、菊池、宇城、天草
- 感染性胃腸炎: 有明、山鹿、菊池、人吉
- 咽頭結膜熱: 菊池
- 手足口病: 有明

インフルエンザ 警報拡大!!

◆インフルエンザを予防するために

- ① 手洗い・うがいを習慣づける
- ② 流行時には人混みを避ける
- ③ 栄養、休養、睡眠を十分に取る
- ④ 部屋の換気と保湿に心がける

◆インフルエンザにかかったら

- ① 早めに医療機関を受診し治療を受ける
- ② 学校や職場へは無理して行かない
- ③ 水分を十分に補給する
- ④ 咳エチケットを心がけ、外出を控える

【感染性胃腸炎、ロタウイルスが増加】

今週の感染性胃腸炎の報告数は、826件で再び増加が続いています。地域別では、有明、山鹿、菊池、人吉が警報レベルにあります。感染性胃腸炎の原因として、ロタウイルスの報告が増えてきています。ロタウイルスの主な症状は嘔吐と下痢ですが、ノロウイルスよりも発熱を伴う場合が多く、重症度が高いとされています。様々な原因により何度も感染性胃腸炎にかかることがありますので、引き続き、患者の便や嘔吐物の適正な処理、食事前やトイレの後の手洗いなど、感染予防対策を徹底しましょう。